学校番号	３１１

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（教育図書）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1) 書道Ⅰで学んだ内容を発展させ、用具用材の違いによる表現の違い等を学んでもらいます
2) 様々な書体や書風を体験し、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します
3) 身近に飾ることのできる作品を作ることで、達成感や書を愛好する心情を育んでもらいます

２ 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める

３ 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評価にまとめる
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する

4 学習の活動

月	単元・題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書と周辺文化の歴史	・ガイダンス	○			○	ａｄ：書道Ⅰの学習を踏まえて深く学ぶことを理解する ａ：書道Ⅱの目標を確認し、学習への取り組む姿勢を確立する	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品
4 5	篆書・隷書	・『泰山刻石』、『石鼓文』、『曹全碑』、『乙瑛碑』、『石門頌』、清代作家作品	○	○	○	○	ａｄ：篆書・隷書に興味関心を持ち、歴史的位置付けを理解する ａｂｃｄ：鑑賞と臨書を通して用筆・運筆・結構の特徴を理解し、表現技法を理解する ｃｄ：表現の多様性を理解し、鑑賞力を深め、書美に対する感性と書を愛好する心情を身につける	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品
6 7 8 9 10	漢字の書の制作	半切作品制作（文化祭出品作品制作）	○	○	○	○	ａｂ：作品の制作を通して、表現の構想から完成に至る過程を工夫し、主体的に自己表現を計る態度を育成する ａｂｃｄ：主体的・意欲的に作品を制作し、表現力を身につけ楽しく制作することができる ａｃｄ：様々な書体の作品を鑑賞する事により多、表現方法を幅広く理解し、良さや美しさを味わう能力を伸ばす ａｂｄ：様々な書作品を鑑賞する事により多様な美を理解し、鑑賞力を深め書を愛好する心情を育む	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品
10 11	漢字仮名交じりの書の制作	・近代詩 ・紙作り（マーブリング、継ぎ紙つくり）	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	ａｂｃｄ：言葉と表現のかかわり方、表現や意図の工夫の方法を味わう ａｂｃｄ：意図に応じた効果的な表現について主体的に考える態度を養う ｂｃ：様々な表現と効果について理解することができる ｂｃｄ：文字の大きさ、字形、配置、書体等を工夫し、表現を試みる ｂｃｄ：制作した作品の表現を工夫し、より効果的な表現方法を発想できる ａｂｃ：言葉と表現の関わり方、表現の意図や工夫の方法を味わう ｂｃｄ：線質や構成の違いによる個性的な表現を味わう	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品

12 1 2 3	実用書	・葉書の書き方 ・熨斗袋・袱紗	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	ａｂｃｄ：伝統的な書式を生かし、整正に配置よく書くことができる ａｂｃｄ：漢字と仮名の調和の重要性を確認し、その工夫について考えることができる ｂｃｄ：用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解し、表現に工夫できる ｂｃ：用筆・運筆の違いによる多様な線質を理解し、表現を工夫できる ｂｃｄ：文字の大きさ、字形、配置、書体等を工夫し、表現を試みる	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品
	作品制作	全国店出品作品制作	○	○	○	○	ａｂｃｄ：作品の制作を通して、表現の構想から完成に至る過程を工夫し、主体的に自己表現を計る態度を育成する ｂｃ：主体的・意欲的に作品を制作し、表現力を身につけ楽しく制作することができる ｃｄ：様々な書体の作品を鑑賞する事により多、表現方法を幅広く理解し、良さや美しさを味わう能力を伸ばす ｂｃｄ：様々な書作品を鑑賞する事により多様な美を理解し、鑑賞力を深め書を愛好する心情を育む	鑑賞 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。